

元気な医院



デンタルタイアップ
代表 小原 啓子

歯科医院で行う日々の仕事で、何が基本かと問われれば、「**5S**」と答えることとしています。歯科医院に理念があり、情報を共有する体制がとられていることが大前提ですが、それだけでは互いを認め、感謝し、尊重し合える医院にはならないのです。

ヒトで悩んでいる歯科医院には**5S**の意識がないところが多いと言えます。

このことは、「整理・整頓・清掃・清潔・躰」と「5S」が2460万件ヒットしました。「歯周病」が2470万件でしたので、倍です。なんだ、そんなことかと思われるかもしれません。しかし、「整理と整頓の違いは何ですか」ときかれ、答えられる人は歯科業界でそう多くはないはずです。「整理は捨てる」とことでもあります。この真逆の意味を続けて使いつしま

うため、ただきれいにすることと勘違いされやすいのです。
5Sは一般的に広く浸透している言葉です。知り合いに聞けば、「新入社員が入ってきた時に叩き込まれる」と答える

待合室の色褪せたポスター、受付の販売コーナーにうつすらと積もった埃。これだけで判断材料は十分です。無断キャンセルには患者さんの意思が表されていることが少なくないのです。

今一度、患者さんになったつもりで、玄関から入ってみてください。今まで見えなかつたことが見えてくるはずです。チーム一丸となって歯科医院の姿勢を**5S**で示すことが、患者さんに安心・安全を提供することにもなります。

仕事の基本 "5S"

院長は「いい治療を提供したい」と言っています。しかし、患者さんは歯科医療の質までは理解されにくく、歯科医院の質はそれ以前の体感で評価されます。玄関ドアの手垢、スリッパの汚れ、待合室の色褪せたポスター、受付の販売コーナーにうつすらと積もった埃。これだけで判断材料は十分です。無断キャンセルには患者さんの意思が表されていることが少なくないのです。

める体制を組むこと。「**5S**」とは組織としての文化を育てていくことと言えます。